

里 だ よ り 2007.1

NPO法人 山野草の里づくりの会

2007年の新年を迎えて 理事長 福岡定晃

春に萌え出た木々や山野草の多くは、その葉を枯らし、来るべき春に向けてエネルギーを蓄えていることでしょう。

地球温暖化の影響でしょうか、暖かい師走でした。どれだけ寒さが戻るのかなんとなく気掛かりの今日この頃です。

荒れ行く里山を何とかしなければと、府県を越えて多くの仲間が集まり里山復旧、里山保全そして環境保全の啓発にと活動して参りました。毎年、確かな手ごたえを感じ、より意義のある活動をめざすことができるようになりました。テレビ、新聞、ラジオなどマスメディアでも取り上げていただき、また、多くの団体の研修や小学校、保育所の学習に利用していただける

ようになりました。

勿論、私達の活動は熱意のあるボランティアや協力者により支えられております。協力いただいております多くの人々に深く感謝申し上げます次第です。

今、全国の里地、里山は管理する人々の激減によりまして日々荒廃が進んでいます。多くの植物、昆虫などの減少が進んでいます。人と植物や動物の共存で維持されてきました里地、里山を守る対策が各地で展開されることを願って止みません。

新しい年を迎え、私達の活動が、今一步意義ある活動に、そして多くの人々に楽しんでいただける山野草の里づくりを目指して行きたいと思っております。皆さんのご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。

12月の活動

11月に刈り取ったそばは脱穀を6日、唐箕通しを16日に行い、昨年を3kgほど上回る62kgの収穫がありました。これは9月の生育と実の入る10月の好天によるものと思われます。霜を避けて半月ほど早めに栽培すると70kgくらいの収穫は見込めそうです。大豆は2日に脱穀を行いました。猪に食べられたため大豆、青大豆、黒豆併せても8kg足らずしかなく、昨年のように自前でお味噌を作ることができなくなりました。そばの刈り取りが済んだ畑には菜種の自生苗が大きく育っています。その隙間へ、9日と13日に苗を植え付けしました。そのほか、たくさんいただいた玉葱の苗を6日と13日に植え付け、苺やチンゲンサイなども植えました。23日、無農薬で育てた大根と白菜を大きな樽に一杯ずつ漬け込みました。



そばの脱穀1



そばの脱穀2



脱穀の合間の休憩



自生の菜種の大苗 唐箕による風選

1日～12日 桜井人権展に出展

人権週間にあわせて例年開催されている桜井市人権展（桜井市まほろばセンター）に今年はずっと初めて展示しました。「環境は人権問題」との理解が今後一層深まることを願っています。

2日～3日 なら結び会（むすびえ）に出展

大神神社駐車場の特設会場で開催された、奈良まちおこし結び会実行委員会・平成遷都1300年記念事業協会主催で盛大に行われました。初日は昼ごろから雨に見舞われて早仕舞いとなりましたが、二日目は好転に恵まれて多くの親子連れでにぎわいました。



人権展の展示風景



左 2日の読売新聞 中 クラフト 右 全体の様子

12日 桜井市立初瀬小学校から環境学習に来訪

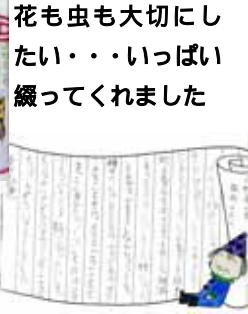
あいにくの雨でしたが、4年生の元気な子どもたちが訪問しました。公民館で理事長が会の活動の様子と山野草の紹介をし、副理事長から珍しい生き物の説明をしました。その後、傘をさして池まで行き「水を張るとガマがいっぱい生え、ミズカマキリやクロゲンゴロウなどがやってきた」との説明にうなずいていました。男の子の中にはモグラの塚をほじくってモグラがいないかと探していました。「天気がよければ里山を自由に歩けたのに」と残念そうでした。後日子どもたちみんなが書いた感想文が届きました。珍しい植物や昆虫がたくさんいると興味を持ってくれたようです。今後も里山の良さを子どもたちに体験してもらいたいと思っています。



熱心にメモしてくれる！



池に興味いっぱい！



花も虫も大切にしたい・・・いっぱい綴ってくれました

23日 仕事納め

20日に引き続き山野草園の片づけを行いました。昨年の赤い花のそばのそば粉を5名でそば打ちし、収穫した野菜のてんぷらといっしょに楽しみました。11月始めに収穫したエビヅルの実300gから芳原副理事長が醸造したぶどう酒で乾杯しました。6月に採った山椒の葉で漬けた身欠き鯉の漬物も好評でした。畑で取れた蒟蒻芋を使ってコンニャクを作り、年末年始の食材に持ち帰りました。



赤そばのそば打ち



漬物の準備



上 白菜干し
左 赤筋大根



右 白菜の漬けこみ

大和高原文化の会

福岡理事長が参加している大和高原文化の会では、6月の発足以来会員の努力により着実に成果を上げています。9月から2回、会長の植村勝彌さんが奈良新聞に「大和高原の未来を探る」と題して、大和高原の歴史と文化を紹介されています。また、奈良学サロンの特別講座で10月18日と12月4日に会長さんの講義があり、3回目は2月21日「大和高原の生活習慣について」が予定されています。奈良学サロンの特別企画でバスツアーが行われましたが、申込者が多く、3回の予定が4回に増やされました。社寺案内は植村会長が、「干し柿作りの体験と甘酒のおもてなし」(写真上)は会員がそれぞれ担当しました。大和高原文化の会は、奈良市、天理市、桜井市の大和高原地域に居住している人々と山添村の人々で構成され、事務所は山添村のご好意により豊原公民館の一室を提供していただいています。



里山林機能回復整備事業

奈良県の環境税導入に基づく事業で、今年からの取り組みになります。1月～3月の期間で、今年は20aが対象となります。キッズ自然体験で「子ども探検基地づくり」を行っている場所(写真は6月)が対象で、広葉樹林に侵入している竹や笹の取り除き、広葉樹の間伐を行います。すでにこのための道具や救急箱が貸与されており、われわれの活動を待ち受けています。みなさんのご協力をお願いします。



絵画展二題

・12月号で速報の第20回全国公募水墨画大賞展(8日～14日富山県民会館)で、福島義二理事の奥さん小枝さんの作品「映(えい)」が「大賞」に選ばれ、9日会場で表彰を受けられました。19年度の会場で個展を開かれるとのこと、たいへん楽しみです。
・会員の澤井章さんの奥さん寛子さんが、7日～12日道頓堀のギャラリー香で初めての個展を開かれました。自画像などの力作が並んでいました。



上 大賞の作品
右上 スピーチ中の福島小枝さん
右下 澤井寛子さんの個展風景



12月の花、面白い虫、生き物



山野草の里・山野草園にこれから咲く花

チャノキ、サザンカ、ツバキ、シナマンサクの花、ヤブコウジ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、ヒサカキ、マンリョウ、ヒヨドリジョウゴ、サネカズラ、サルトリイバラ、ナンテン、アオキ、キチジョウソウ、オオバジャノヒゲ、ジャノヒゲ、ヤブランなどの実、ダンコウバイ、アセビのつぼみふくらむ

1月・2月の活動日

**あなたのご参加を
お待ちしております！**

- 1月 3日(水) 新年茶会 10時半から 川畑さん宅にて
6日(土) 活動日(仕事始め)
10日(水) 活動日
13日(土) 活動日
17日(水) 活動日
20日(土) 活動日
24日(水) 活動日
27日(土) 活動日
31日(水) 活動日
- 2月 3日(土) 活動日
7日(水) 活動日
10日(土) 活動日
14日(水) 活動日
17日(土) 活動日
21日(水) 活動日
24日(土) 活動日
28日(水) 活動日

「活動日」の内容： 野菜畑の管理、自生地の管理、ビオトープづくり、里山林機能回復整備事業(子ども里山探検基地づくり)、味噌づくりなど

- ・天候などの都合により活動内容を変更又は中止する場合があります。参加いただける方は、当日午前8時頃までにお問い合わせください。前もって参加の連絡をいただいた方には当方からご連絡します。
- ・いずれも午前9時30分に山野草園へ集合願います。
- ・平日は弁当をご持参願います。
- 土曜・日曜は、ボランティアしてくださる方の昼食はみんなで作ります。予め参加ご連絡下さい。
- ・服装は、作業のできる服装で。カッパ、ゴム長靴、着替えもご用意下さい。
- ・いずれもご連絡は下記までお願いします。

NPO法人 山野草の里づくりの会 <http://www.sanyasou.org/>

〒633-0102 桜井市三谷528番地 福岡定晃内

TEL/FAX 0744-48-8105(福岡) E-mail fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp

編集 芳原